

## 2021年度 第1回 順天堂大学医学部附属順天堂医院

### 医療安全に関する監査委員会 実施報告書

日時・場所：書面回覧（2021年10月27日～11月10日）

外部委員：尾崎 治夫 委員長（東京都医師会会長）

蒔田 覚 委員（蒔田法律事務所弁護士）

村山 徹 委員（早稲田大学 客員教授）

対応者：高橋 和久 院長

坂本 一博 医療安全担当副院長、医療安全管理責任者

米澤 和彦 事務部長

小林 弘幸 医療安全推進部長

佐藤 邦義 医薬品安全管理責任者

中村 昭也 医療機器安全管理責任者

桑鶴 良平 医療放射線安全管理責任者

川崎 志保理 医療安全機能管理室長

山本 宗孝 医療安全機能管理室（医療安全管理部門）副室長

養田 絢子 医療安全管理者、医療安全管理部門 専従看護師

林 英守 医療安全管理部門兼任室員、循環器内科医師

高橋 玄 医療安全管理部門兼任室員、大腸・肛門外科医師

小川 尊資 医療安全管理部門兼任室員、皮膚科医師

原 厚子 医療安全管理部門兼任室員、麻酔科医師

加藤 仁美 医療安全管理部門兼任室員、放射線科医師

野原 奈緒 医療安全管理部門兼任室員、腎・高血圧内科医師

田村 典子 医療安全管理部門専従看護師

松本 雅弘 医療安全管理部門専従薬剤師

木暮 陽介 医療安全管理部門兼任室員、診療放射線技師

中村 裕樹 医療安全管理部門兼任室員、臨床検査技師

古田島 正樹 医療安全管理部門兼任室員、臨床工学技士

高橋 潤平 医療安全管理部門専従事務員

唐澤 沙織 医療安全管理部門専従事務員

議事内容：

1. 委員会取扱要領の改訂
2. 業務状況報告
  - 1) 前回監査指摘事項に関する報告
  - 2) 医療安全管理責任者業務状況報告（2020年度）
  - 3) 医療安全管理部門業務状況報告（同上）
  - 4) 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）
  - 5) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）
  - 6) 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）
  - 7) 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）
  - 8) 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）
3. 監査委員の講評および質疑

委員会内容：

➤ 委員会取扱要領の改訂

- ◆ 第2条（委員会の役割）における確認事項に医療放射線安全管理責任者業務状況報告を追加
- ◆ 組織改編に伴う、部署名の変更（医療安全管理室⇒医療安全管理部門）

⇒監査委員より疑義なく、改訂案での承認が認められた。2021年11月10日より施行とする。

➤ 2020年度業務状況の確認

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行下により、実施を見送りとしていたが、2021年度第1回は、見送りせず、書面回覧形式で開催した。

書面にて、以下内容について、外部委員へ確認を依頼した。

- 前回監査指摘事項に関する報告
- 医療安全管理責任者業務状況報告（2020年度）
- 医療安全管理部門業務状況報告（同上）
- 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）
- 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）
- 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）

➤ 監査結果

◇ 前回指摘事項に対する改善状況

1. 業務効率化につながるシステム・ルールの構築

⇒手術準備業務の変更による改善

術前に準備が必要な医療機器・材料について、術式別に器械を再整理されていた。それに伴い、術前準備時間が短縮し、経験年数に左右されない誰でも手術準備可能な環境づくりが構築されたことがうかがえる。

2. 病理診断レポート開封率の早期上昇

⇒病理診断最終報告書の未読防止手順の策定

当院における病理診断報告書の未読防止手順が2段階（①担当者への報告者未押下リストのメール配信②報告書紙媒体での医局宛送付・返却要請）で策定されていた。

本手順開始以降、2か月以内に押下率100%を達成しており、素晴らしい取り組みといえる。

3. ハイリスク患者（転院・要介護度の高い患者など）への支援充実

⇒専門チームによる退院支援

退院支援専門チームの介入率は、2019年度以降微増傾向にとどまっているが、COVID-19の流行により、患者家族の来院を極力制限せざるをえず、入院前の介入が十分に実施できない状況が続いており、現在は病棟スタッフによる退院支援のサポートに注力されている。

引き続き患者への支援充実に尽力いただきたい。

◇ 評価すべき点

1. 課題に対して、解決のための Plan-Do-See の管理サイクルが確実に行われている。  
このような取り組みが病院全体に浸透する文化が醸成されてきているように見える。  
今後、より一層の浸透に期待したい。
2. 医療安全研修をほぼ全職員が受講しており、モニタリングがされている。
3. 医療安全ラウンドについて、結果の正答率が低いものを公開・フィードバックなど、医療安全意識の啓発に努めている。

◇ 改善すべき点（指摘事項）

1. 日本医療機能評価機構報告に関する医療法施行規則で求められる報告期限内への短縮
2. 課題解決のための構造的な見直し  
(組織体制・トータルシステムの構築・プロセスフローの再考・大幅なデジタル化)

◇ 全体評価

資料内容より特定機能病院としての安全管理体制が一層整備・充実していることが確認された。

以上